

令和7年度 全国学力・学習状況調査

教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立五箇小学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	66.8%					○
算数	58.0%					○
理科	57.1%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	76.9%					○
情報の扱い方に関する事項	63.1%					○
我が国の言語文化に関する事項	81.2%					○
話すこと・聞くこと	66.3%					○
書くこと	69.5%					○
読むこと	57.5%					○

【考 察】

- 全領域で全国平均を上回りました。特に、「書くこと」の領域において高い正答率となりました。文章を書くことにおいて、自分の考えが伝わるよう書き方を工夫したり、意図に応じて分かりやすく書いたりする力が身についています。
- 「読むこと」の領域では、文章を読み、時間的な順序や事柄の順序を捉えて読む力がついています。しかし、文章全体の要旨を捉えたり、文章と図表を結び付け必要な情報を見つけたりに課題が見られました。授業において、児童同士の話し合い活動や、書く活動を工夫するなどして、教材文の要旨を捉えたり必要な情報を見つけたりとできるような力が身につくよう継続した指導を行っていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%					○
図 形	56.2%				○	
測 定	54.8%					○
変化と関係	57.5%					○
データの活用	62.6%					○

【考 察】

- 全領域で全国平均を上回りました。特に、「数と計算」の領域において高い正答率となりました。「学習タイム」や「確認テスト」などを継続して行ってきたことで、基礎的な知識・技能を身につけることができました。今後も継続して行っていきます。
- 「図形」の領域では、図形の性質や定義を基にした作図の理解に課題が見られました。授業において、実際に図形を描く活動を重視しながら、図形の性質や定義をもとに描くことへの理解を深めていきます。また、「データの活用」の領域では、グラフの情報を正しく読み取って、言葉や数を使って説明する問題に課題が見られました。適切な言葉を選び、条件を整理して考えることができるよう指導していきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	46.7%					○
粒 子	51.4%					○
生 命	52.0%					○
地 球	66.7%					○

【考 察】

- 全領域で全国平均を上回りました。特に、実験で得られた結果を基に、他の条件で実験を行ったときの結果を予想して考えるような力が身についています。今後も、実験の方法を検討・改善し、子ども達が興味関心をもって取り組むことができるよう授業の工夫を行っていきます。
- 3・4年で学習した「金属の性質」に関する問題に課題が見られました。今後は、単元同士のつながりを意識し、関連する既習事項について確認しながら学習を行っていきます。また、問題の意図を読み取り、どの資料を活用したら解決できるかを判断する力を身につけることも求められているため、文章読解力も高めていけるよう指導を行っていきます。